

2020年12月21日

Press Release

メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック

「スマート脳ドック」開院3年で脳ドック延べ受診者が4万人を突破

コロナ禍でストレスなど睡眠障害を抱える働き盛り世代（30～50歳代）の受診者が増加傾向
CT検査により無症状の方に肺炎が見つかるケースも

“脳ドック”に特化した画像検査サービス「スマート脳ドック」を提供するメディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック（東京都中央区、院長：知久正明 以下「MCS」）は、2018年1月のサービス開始以来、延べ受診者が4万人を突破いたしました。（2020年11月末時点）

これを機に、コロナ禍前後における働き盛り世代（30～50歳代、以下「働き盛り世代」）の画像および問診データの分析結果（2018年1月～2020年11月 MCS 受診者データ）についてお知らせいたします。



あなたの脳疾患リスク
(脳梗塞・くも膜下出血・脳出血・脳腫瘍など)
ご存知ですか？

スマート脳ドック[®]

MRI・CT 画像検査
メディカルチェックスタジオ[®]
東京銀座クリニック

■待たない検査で院内混雑リスク回避。コロナ禍での受診者数は堅調推移

PC やスマホで事前予約・決済・検査結果の閲覧が可能な「スマート脳ドック」は、17,500円（税別）という価格、来院からお帰りまで30分という所要時間で、検査結果は放射線科および脳神経外科専門医2人によるダブルチェックを実施のうえ、1週間以内にPC やスマホにて確認できる利便性の高いサービスです。

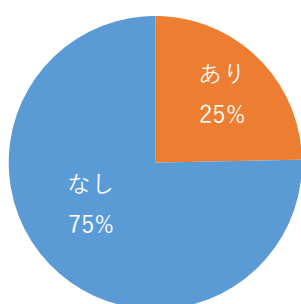
スムーズな予約と待ち時間をつくらない運用体制により、コロナ禍における院内での混雑を回避し、安心してご来院いただいております。

■「スマート脳ドック」の受診者傾向

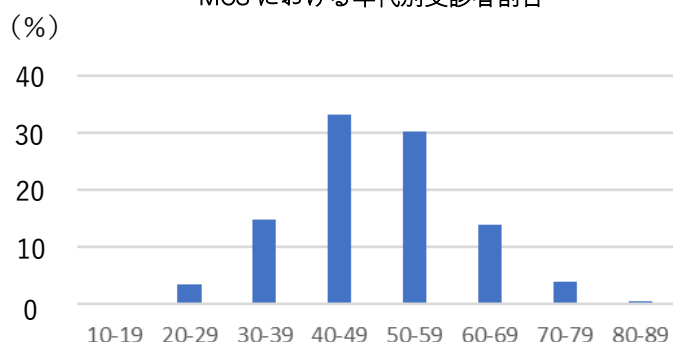
受診者の 8 割が働き盛り世代。スマート脳ドックは、これまで脳ドック受診の機会が少なかった働き盛り世代を中心にご利用いただいております。

1. 全体の 75%は脳ドックを初受診
2. 日本全国 47 都道府県からの来院
3. 男女比は約 5 : 5
4. 受診者の 78%は 30~50 歳代の働き盛り世代
(年代別では 40 代が 33%、次いで 50 代が 30%、30 代が 15%)

脳ドック受診歴の有無



MCS における年代別受診者割合

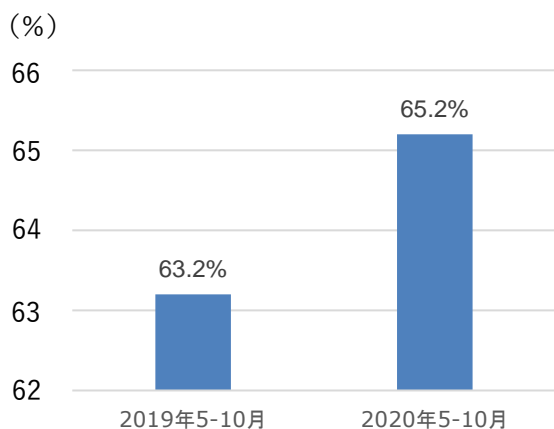


■「スマート脳ドック」の結果分析

1. 睡眠障害を抱える受診者は約 6 割。コロナ禍で増加傾向に

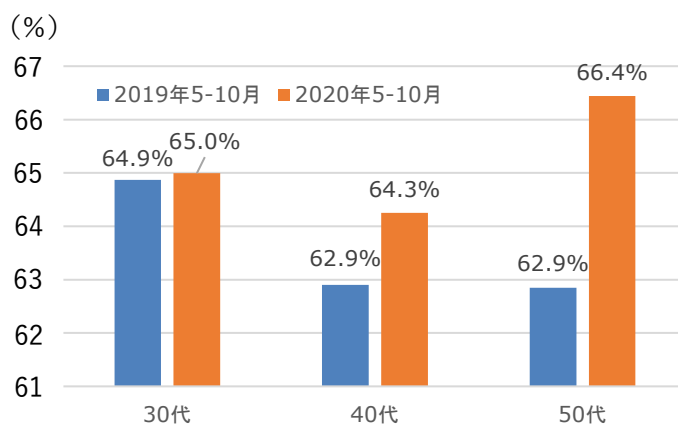
睡眠障害を抱える受診者の割合はコロナ禍前後で比較すると、増加傾向にあることが分かりました。この結果から、コロナ禍におけるストレスにより睡眠障害を抱える受診者が増えていると思われます。

睡眠障害を訴えた受診者の割合
前年比 (30~50 歳代)



t検定による 2 群比較で有意差あり (p < 0.05)

睡眠障害を訴えた受診者の年代別割合
前年比 (30~50 歳代)

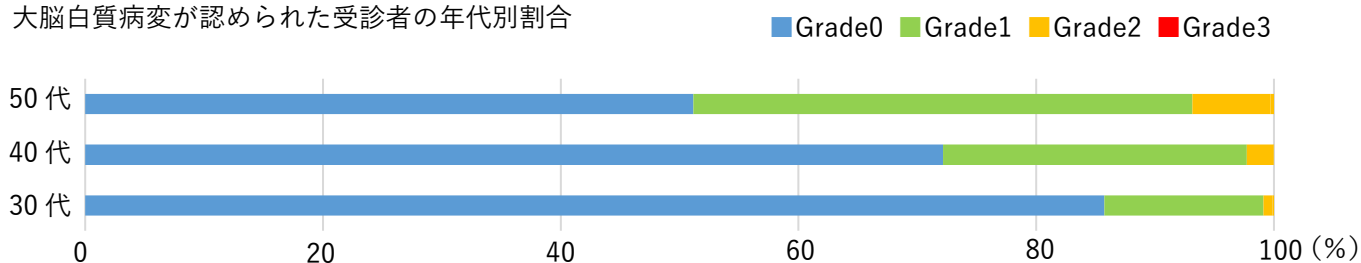


2. 認知症や脳梗塞発症に関わる「大脳白質病変 (※)」について

「大脳白質病変※」は将来的な認知症や脳梗塞発症のリスク因子とされ、年齢が上がるにつれ発見率が高くなるといわれています。実際に働き盛り世代の年代別では30代で約15%、40代で約26%、50代になると約50%の方にこの病変を認めました。

※大脳白質病変とは、脳内の血流低下に伴い神経周囲が変性すること

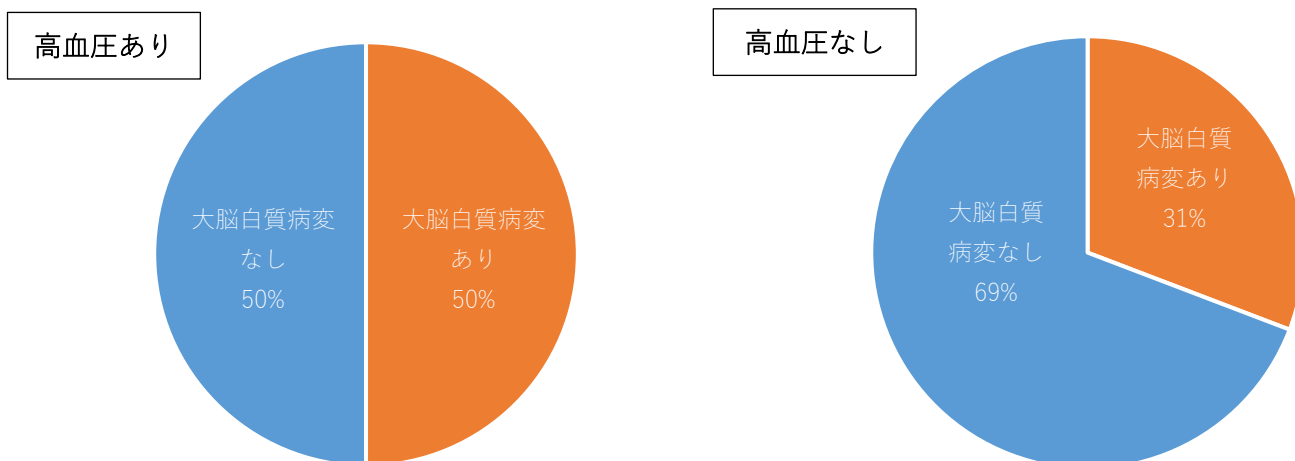
大脳白質病変が認められた受診者の年代別割合



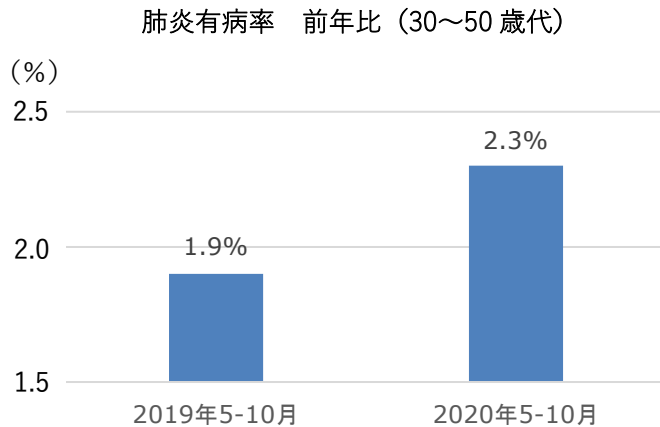
3. 高血圧を有する受診者の約5割に大脳白質病変を確認

受診者全体の問診内容と検査結果を併せて分析した結果、高血圧の有無によって大脳白質病変発見率に差が認められました。これは働き盛り世代でも同様の結果が表れており、高血圧と大脳白質病変には密接な関係があることが示唆されました。一方で大脳白質病変は将来の認知症や脳梗塞発症のリスク因子であり、基本的には改善しません。そのため、日常生活において高血圧の予防、治療をしっかりと行いながら、定期的に脳ドックを受診することが推奨されます。

高血圧の有無による大脳白質病変発見率の違い (30~50歳代)



4. CT肺・心血管ドックによる「無症状の肺炎」の増加



スマート脳ドックのオプションとしても手軽に受診できる「CT肺・心血管ドック」では、肺がんや肺炎、心血管疾患などの有無を検査可能です。特に緊急事態宣言解除後の5月以降のデータでは、発熱や咳などの症状がない受診者における肺炎の発見率が増加しております。

■メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック院長 知久正明 (ちく まさあき)



『未病』を理念として開始したスマート脳ドックの延べ受診者が4万人を超え、健康管理における脳ドックのニーズと必要性を再認識しております。特に若い世代の受診者が増えたことで、今までは存在に気付かなかった早期での脳疾患が見えてきたことも、今後の健康管理において有意義であると考えています。

今年はコロナ禍の影響で、夜の会食自粛により健康状態の改善が見られた方がいる一方で、運動機会の減少や、ストレスによる睡眠障害等で健康を害する方もおられ、脳ドックの検査結果でもそのような傾向が出ていると言えます。

テレワークやリモートワークでの、PCやスマートフォン画面の見すぎによる眼精疲労や、姿勢の悪化によるストレートネックなどでの緊張型頭痛や片頭痛を訴える方も増えていきます。また、新型コロナウイルス感染者が増加傾向の中で、

CT肺・心血管ドックでは無症状でも肺炎を認めた方がいました。ウィズコロナの世界では、どのように健康を維持していくべきかが今後の課題であり、スマート脳ドックでご自身の健康状態を知ることがとても大切なことだと考えています。

□知久 正明 (ちく まさあき)

東京都出身、1994年日本大学医学部卒業、2000年日本大学医学部大学院修了。医学博士。

メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック院長

医療法人社団ウェルプレベンション理事長

■「スマート脳ドック」の特徴

「スマート脳ドック」は、頭部 MRI/頭部・頸部 MRA の検査を行い、主に脳血管の破裂リスクとなる脳動脈瘤、脳の血管がつまる脳梗塞、そして脳腫瘍などの、自覚症状のない異常箇所を調べることができるスピーディな画像検査サービスです。

<主な特徴>

1. 継続しやすい価格

頭部 MRI/頭部・頸部 MRA 検査が、17,500 円（税込 19,250 円）で受診できます。

2. カンタン予約

予約は Web から。検査時間は 30 分。いつもの服装のまま、スキマ時間に受診できます。

3. 画像検査は放射線科、脳神経外科専門医 2 人のダブルチェックを実施しています。

4. 専門医療施設と連携したサポート体制。

5. 「マイページ」でのデータ管理（検査から 1 週間ほどで反映）

スマートフォン・PC で、予約から検査結果の確認、過去の履歴もマイページ上で管理できます。

※「スマート脳ドック」および「CT 肺・心血管ドック」は自費診療となります。

■メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック(MCS)とは

MCS はスマートスキャン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：濱野 斗百礼、神山 一彦）がプロデュースし、医学博士 知久正明が院長として 2018 年 1 月に開業いたしました。

そのコンセプトは「IT×予防医学×検査」。病気の発症を未然に防ぐ検査にフォーカスし、忙しい方にも手軽に継続してご利用いただけるよう、予約から検査結果の確認を WEB からスムーズに行える「スマート脳ドック」および「CT 肺・心血管ドック」を提供しています。

今後も広く予防検査を提供し個人の健康管理および企業の健康経営の促進と、生活習慣に起因した病気予防の普及拡大に努めてまいります。

※MCS では新型コロナウイルス感染症予防対策として、ご受診者様のご来院時に体温測定、マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保等のお願いをしております。

□メディカルチェックスタジオ銀座東京クリニック

〒104-0061 東京都中央区銀座 1 丁目 2-4 サクセス銀座ファーストビル 2F

TEL：03-6263-2570

URL：<https://medicalcheckstudio.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

メディカルチェックスタジオ 広報担当：五十嵐

Email：pr@medicalcheckstudio.jp